

# 子育て支援プロジェクトの 解散にあたって

子育て支援プロジェクトメンバー

## プロジェクトの解散にむけて

私が子育て支援プロジェクトに関わったのは、自分の経験から少しでも子育て中の方の力になれないかと思ったからです。参加した当初はほんのお手伝いのつもりでした。私のできることをできる範囲でやる、くらいのつもりだったので、活動していく中で、予算や計画書を提出し、事業としてきちんと成り立たせるということに戸惑いを感じることもありました。また、メンバーそれぞれ出産やその他の事情から実質動けるのが私1人となった時期がありました。活動するからには責任も伴い、そんな中で責任を果たすということに疑問を感じ自信が持てなくなり、気持ちがとても揺れました。事業として活動する事の大変さを思い知らされたような気がします。

これからは応援していきたいです。  
(崎山 久美)

る調査報告書『このままでいいの？今時の子育て支援』でした。諸事情によりメンバーは減少し、現メンバーも途中出産などで活動をお休みしながら最終的には4人となりました。そして全員が後半は子育てしながらアンケートに関わりながら、仕事や勉強などを始めて時間の余裕がなくなっていました。何度もプロジェクトの存続について話し合いがありました。が、やり遂げようとその度に思い直しました。しかし完成し日々過ぎていく中で、次は？の問いに全員答えが出ませんでした。子育ての慌しさから一歩踏み出したからでしょうか。子どもが親の手を離して一人で歩き出すように私達もここから独り立ちをする時が来たのかもしれない。日々の生活に戻り、次のステップを自分らしく見つける時が来たのかもしれない。そして解散を決めたのです。プロジェクトそのものはなくなりませんが、SEANとの関わりは続けていきたいとそれぞれ思っています。今後とも宜しくお願います。ありがとうございました。

そんな私ですが、子育て支援プロジェクトの代表として活動させてもらい沢山の学びを得ることが出来ました。心より感謝いたします。このままSEANと共に、何か少しでも私のできることで社会に貢献できたら、との気持ちもあるのですが、正直なところ活動に対する興味や探究心より義務感の方が強く感じられて辛いというのが現状です。今現在、私は出産前にしていた介護の仕事をパートでやっています。自分にできることで人に喜んでもらえる、また給与を得ることで、プロとして働いているということを嬉しく思っています。そんな今の自分を大切にしたいです。年度の途中での解散となりましたが、私は今の私にできること、私に与えられた場で今後頑張っていくきます。みなさんの活動を

## 出会はそれぞれ違っていたけれど

出会はそれぞれ違っていたけれど、何かやってみようと始めたプロジェクトでした。遊び場やお稽古の情報は沢山あっても、育児に対する心の内を表しているものは少ないという事からのスタートだったと思います。それは自分自身の育児の辛さや、ママ友達を作らなければと焦る気持ちを抱えながらの答え探しだったと思います。そして同じように子育てしているママ達に気持ちを伝えてみたいとアンケート冊子を作ろうと決定。そして何日も何日も会議をし話し合いを進めた原稿作り。色々なサークルに出向き沢山の人達にお会いしたアンケートの依頼回収。個々の強みを出し合って練り上げた考察とグラフ作り。そして色々な人たちの助けをお借りし完成したのが、現役子育てママ達でつくった「子育て」に関する

(岡田 多香子)